



イメージビジョン株式会社
 〒151-0053
 東京都渋谷区代々木 4-15-10 フジ参宮橋ビル 2F
 TEL: 03-5738-2230 FAX: 03-5738-2231

Harvest One 社 CACTUS V6II、V6IIs 用 X-TTL ファームウェアのダウンロードを 2017 年 7 月より開始します。

イメージビジョン株式会社 (東京都渋谷区) はこの度、Harvest One 社 (香港) のワイヤレストランシーバー製品、Cactus V6II / V6IIs 用 X-TTL ファームウェアのダウンロードを 2017 年 7 月より順次公開します。

これにより、V6II / V6IIs はクロスブランド電波式ワイヤレス TTL トランシーバーに無料でアップデート可能となります。「パワーロック可能な TTL 翻訳機能付き電波式ワイヤレストランシーバー」X-TTL ファームウェアバージョンは富士フィルム、ニコン、キヤノン、オリンパス、パナソニック、ペンタックス、シグマのクロスブランドハイスピードシンク (HSS / FP)、リモートパワー、ズームコントロールをサポートしているほか、オンカメラとオフカメラの両方で、同じようにクロスブランド環境で自動 TTL 露出をサポートします。

ファームウェアリリースの予定は、Sigma、Sony、Fujifilm 用に 7 月から開始予定です。他のカメラシステム、Canon、Nikon、Olympus、Panasonic、Pentax は、V6 II のシステムインテグレーションにより順次開始する予定です。これらの X-TTL ファームウェアのすべてのバージョンは、V6 II / V6 IIs ユーザーに無料で実施予定です。V6 II / V6 IIs は、一度設置すると、クロスブランドの TTL フラッシュトリガーに変換されます。このユニークな機能は、全ての写真家にオンカメラでもオフカメラの TTL フラッシュ撮影で同一のカメラシステムとフラッシュを一致させる必要性のないボーダレスなシステムの柔軟性がもたらされます。

X-TTL (クロスブランド TTL) 機能の概要

1. キヤノン、富士フィルム、ニコン、オリンパス、パナソニック、ペンタックス、ソニーの HSS / FP サポートによるクロスブランドワイヤレスマニュアルパワーコントロールおよびズームコントロール。
2. キヤノン、富士フィルム、ニコン、オリンパス、パナソニック、ペンタックス、シグマ、ソニー用クロスブランドのワイヤレス TTL を実現します。
3. クロスブランドグループの TTL 計測は、クロスブランドのセットアップで使用できるように拡張されています。
4. TTL 出力調整は、V6 II (TX) で直接行うことができます。
5. 2 つの露出ロックは、無線 TTL の利便性と一貫性を提供します。
6. Cactus RF60X とはシームレスに連携し、HSS、TTL、リモートパワー、ズームをサポートコントロール。

*1 Pentax と Sony システムのフラッシュは特別なタイミングのため、HSS をサポートするためにはそれぞれ Pentax と Sony のカメラとペアにする必要があります。

*2 キヤノン、ニコン、オリンパス、パナソニックのシステムフラッシュのみがクロスブランドの TTL をサポートしています。

*3 この機能は、すべてのカメラシステムでサポートされているとは限りません。

*4 Cactus Firmware Updater バージョン 3.01 以降では、ファームウェアの選択が容易になります。

Cactus は、TTL 計測を使う際の新しいアプローチを発表します。これまで、TTL 計測の利便性を熟知しているプロユーザーは、しばしば変化する照明出力に矛盾が生じ、後作業に苦労しました。これを Cactus は考慮して、2 種類の Exposure Locks を考案しました。

1. フラッシュ補正：カメラ設定の変更に応じて自動的に調整される、希望のフラッシュ露出を保存します。GTL は各 TTL 測光の間に絶えず変化するフラッシュ露出です。

2. フラッシュパワーロック：所望の TTL 露光が達成された後、フラッシュパワー出力をロックする。リピート撮影に一貫性があります。

*プロ機材 & セミナー最大規模のイベント PHOTONEXT 2017 年 6 月 20 日 (火)、21 日 (水)
 イメージビジョン (ブース No.27) ブースにて参考出品します。

この件のお問い合わせは下記にお願いします。

営業部 担当: 山崎

TEL: 03-6300-6440 FAX: 03-6300-6441

Eメール: nyamasaki@imagevision.jp

URL: <http://www.imagevision.jp>

